

私の教育実践 ―之を楽しむ者に如かず―

愛媛県立松山北高等学校 校長 長井 俊朗

高校時代、病弱で入退院を繰り返していたため、運動会の季節は、3学年とも病床でした。教員として勤務して初めて、母校の運動会に参加できました。両肺を手術していたため、大学時代は十分に運動ができず、マンドリンクラブに入部しました。クラシックギター演奏に熱中したため、国語研究室は敷居が高くなってゆきました。何とか採用していただいたので、お世話になったことへの多少の恩返しもできるだろうと考え、教員生活をスタートしました。



昭和59年、赴任したのは宇和島水産高校でした。運動も多少できるようになっていたところでテニス部の顧問を命じられました。小学校で野球、中学でサッカーや卓球の経験はあったのですが、テニスは未経験でした。仕方なく木製のラケットを購入して球を打ってみると面白い。球の反応が化学的というか物理的というか、気がつけばテニスのことばかりを考えるようになっていました。それからは生徒とグラウンドの片隅にコートを作り、また丸山公園でも早朝から夜遅くまで練習に励みました。知識がないので、ダブルスで、背の低い女子に平行陣というサーブ&ボレーが必要な男子の戦術を教え込み、県大会ではスマッシュミスを連発してあえなく敗退したのがほろ苦い思い出です。しかし、このときの経験が基礎となり、伊予高校で指導した男子テニス部が、平成5年から3年連続で愛媛県総合体育大会団体において優勝し、栃木・富山・鳥取インターハイに出場することができました。春の全国選抜大会にも2回出場、さらに、愛媛県少年男子監督として香川国体に出場できました。団体初優勝の時は、ダブルマッチポイントを握ったのですが、見ていられなくて目を閉じていると、相手のサーブがネットにかかった『ペチッ』という音がしました。ダブルフォルトで優勝が決まったのです。相手監督のところにとんでいってお礼を言ったのを覚えています。家族のことを除けば、今でも人生で一番嬉しかった瞬間となっています。

テニスといえば、先日、全豪オープンで優勝した大坂なおみ選手が、体幹のみならず精神面も強化されていることに驚きました。テニスは特にメンタルが影響を及ぼすスポーツで、歳月を経ても思い出すのは、勝利した歓喜の場面だけではなく、団体戦初優勝まで、あと2ポイントという場面で、簡単なボールをボレーミスし、その後敗れた試合や、シングルスで5-0の40-0、あと1ポイントで勝利の場面から逆転負けした試合などです。いずれも、勝ちを意識しすぎて平常心を失ったが故の、ある意味では、人間らしいといえる敗戦でした。

ある程度の練習量をこなし、指導者として経験を積んでいくと、早晚人間力を育てていないと、ここぞとういうときには勝てない、そして、最終的には人間教育が大切だということに行き着きます。後に世界的テニスプレイヤーとして活躍した杉山愛選手、彼女は個人戦で初めて出場した宮崎インターハイのとき高校生でしたが、その母美沙子さんは「実力を発揮できるかどうかは、普段の生活にかかっている」が持論だったそうです。私も部活動の指導においてそのことを実感しました。また、イエローハットの創業者鍵山秀三郎さんは『凡事徹底』という言葉で象徴されるように、掃除をすることを通して「誰でもできることを、誰もやらないくらいにやる」という事を実践されてきたそうです。私も初めて練習試合を受けてもらって訪れた新田高校クレイコートの手入れの良さは、強く印象に残っています。1円もかけずに集団を変える魔法とは、やはり、挨拶、掃除、整理整頓。環境の乱れは気の乱れ、ゴミの波長は人と共鳴して、乱れた行動に拍車をかけるのでしょう。

現代は、AIやICTに支えられた時代になりつつあり、スポーツ界でも、非科学的なトレーニング方法は影を潜め、対戦相手の分析にもデータが重用されています。しかし、最終的にプレイするのは、機械ではなく生身の人間です。そこに、スポーツを「する」「観る」「応援する」ことの楽しさがあり、AIが席卷する時代になればなるほど、スポーツは、豊かな人間性を保ち続ける力になるのではないかと考えます。学校の部活動も同様で、心に深く刻まれ、将来仲間と懐かしく語り合い、生涯にわたって心の支えになる楽しい時間をなくしてしまうのは、とても残念に思います。だからこそ、時代に即応した新しい制度設計が必要です。

平成31年、松山北高校に赴任しました。部活動の盛んな学校で高体連会長をさせていただくとは、病弱であった高校時代のことを思うと感慨深いものがあります。今年はコロナ禍で苦しむ生徒を勇気づけようとラケットを握り、17年ぶりに球出しをしました。また、先日、かつての仲間であるテニス部顧問会の方から退職祝のお花等が届いたことも嬉しいことでした。門外漢の素人であった私を導いてくださった多くのテニス関係者の皆様、沢山のことを学ばせてくれ全国各地に連れて行ってくれた教え子たちに改めて感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

